

2020年度第1回教育課程編成委員会議事録  
(観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科)

日時	2020年7月20日(月)	場所	8号館3F ホテル実習室	進行	湊	記録	栗原
----	---------------	----	-----------------	----	---	----	----

出席者	企業側(8名)敬称略・順不同		
	学科	企業名・団体名	お名前
	観光・鉄道	一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会	津金 貴浩
	観光・鉄道	千葉都市モノレール株式会社	山口 晋司
	観光・鉄道	東日観光株式会社船橋支店	酒井 大之
	観光・鉄道	株式会社日本旅行千葉支店	只隈 修一
	エアライン・デュアル	株式会社旅行綜研	石井 光彦
	エアライン・デュアル	株式会社ジャッツ 成田空港事務所	鈴木 繁
	エアライン・デュアル	一般財団法人成田国際空港振興協会	岸本 達也
エアライン・デュアル	株式会社エコーパートナーズ	山田 将人	
学校側(6名) 矢口、竹ノ谷、湊、茂野、立石、栗原			
*キッズドリーム合同会社 伊藤氏は当日欠席の為、別日に学科担当教員によるヒアリングを行った*			

議事録	<b>【全体会】</b>
	司会進行:湊
	今回の教育課程編成委員会は、観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科で開催。
	1. 校長挨拶
	コロナウィルス蔓延により、世界的に対応策に追われている中、観光業界を目指す学生をどのように今後導いていくか、非常に難しい状況となりました。
	遠隔授業の実施、感染予防対策を行いながら6月より学校再開となりましたが、就職を控えた学生(現2年生)にとっては非常に苦しい状況が続いており、各業界の現状、今後の授業に関するアドバイスを頂き、学生指導に活用させて頂く。
	2. 業界・企業の最新情報(新型コロナウイルス対策など)
	津金氏(協会)
	・団体の扱いが多く、約半年収入が減少している。
	・緊急事態の宣言から解除までの間、旅行の中止・延期対応が非常に多く、更に今後はGoToキャンペーンがスタートするため、出社制限を行っている中でも、業務が増える事になる。(在宅勤務を取り入れ、その期間中に研修を従業員実施 出勤は週2日程度)
・今後の動きとして、個人取扱の旅行にて集客を狙う。	
酒井氏(観光)	
・3月より休業状態にあり、8月までは収入の目途が立っていない状況	
・法人の取り扱いが壊滅的ではあるが、一部延期、日帰り旅行が残っている状態であり、都心部から市川、船橋、流山は修学旅行中止、千葉市に関しては、春から秋に延期となっている。	
只隈氏(観光)	
・団体旅行は壊滅的状況となっているが、小中学校の夏休みが縮小された中でも、8月中の家族旅行申込み、出張の個人申し込みが多少増加してきた。	
山口氏(鉄道)	
・4月の緊急事態宣言時は乗車率が約3割まで減少したが、現在は学校・企業が再開したことで定期券使用者の乗車が戻ってきたことから、乗車率約6割まで回復。	
・国交省より鉄道運航を止めないよう指示が入っている事から、感染対策として運航時の車内の様子や、ドアの開閉等により5分で車内換気が完了することなどの情報提供を行っている。	

石井氏(エアライン)

- ・半年間に渡り添乗業務が皆無の状態となり、約 1200 名の添乗員に対して休業手当を支給している。雇用調整助成金に頼ることになるが、大変厳しい状況が続いている。添乗員の育成には時間を要するため、回復期に合わせて一人でも多くの添乗員確保に努めている。
- ・空港業務についてはベーシック(事務的)な業務は残っているが、ミーティング・センディング等の業務は発生していない。空港職員も計画休業を実施中。
- ・8 月より国内線が戻る見込みとの話があるが、企業からのアウトソースには時間が掛かりそう。Go To トラベルキャンペーンの波及にもよるが、国内旅行から回復に向かうのではないかと。海外旅行の回復は全く目途が立っていない。

岸本氏(エアライン)

- ・国際線搭乗率:3 月、4 月(約 99%減)5 月搭乗者数 9 万人(約 95%減)
- ・現在、成田空港の国際・国内共に運航便数が少なく、各ターミナル内店舗は数店が営業している程度。
- ・従業員に関しては1 勤 2 休、事務職は 1 勤1 休の輪番で勤務している。7 月 22 日より B 滑走路が再開されるため、少しでも回復に向かうことを期待している。

山田氏(エアライン)

- ・グランドハンドリングについて、貨物部門は仕事量が減少しておらず休業はしていないが、旅客機部門は半分以下の人員で業務対応を行っている。
- ・グランドスタッフについては航空機の運航数が減少している事から約半数の人員で業務を行っている。国内線が回復する事から、グランドスタッフの稼働が上がるが、約 3 ヶ月間休業が多い状態であったため、スタッフのコントロールに不安有り。

鈴木氏(エアライン)

- ・緊急事態宣言解除後、国際線についても徐々に搭乗者が増えてきており、日本や母国へ帰国できなかった方々の送迎がみられるようになってきた。
- ・従業員については成田から羽田への期限付き異動、官公庁の業務請負などを行っている。

業界の皆様方から業界の厳しい状況について何う事が出来た。

コロナウイルス対策として、各企業、換気・消毒を行っているが、乗客・旅行者が未だ以前同様の推移に達しておらず、各企業共に従業員の出社調整、事業縮小、または他業種への派遣等を行っている状態であることが判明した。

7 月中旬より国内線の便数が戻ってくる予定であり、成田空港 B 滑走路が使用再開となるため、空港事業に関しては若干回復の兆しが見えてきた。

観光業界に関しては GoTo キャンペーンによる混乱も起きている状況だが、夏休みによる国内旅行者数の増加がみられるため、出来る事を実施しながら、諸外国の受け入れ態勢が整うのを待っている。

## 【分科会】観光科・鉄道科

進行:立石が分科会を開会。

### 【内容】

1. 2020 年度新規導入科目カリキュラムに関して説明→教務担当立石より報告

立石

- ・観光科:2019 年度教育課程編成委員会の提案より、プレゼン技法を2年後期に導入。ニュースディスカッションを1年後期から2年前期まで導入。手話を 2 年後期に導入。観光プランニングを2年間通して行う。目的・目標を明確にして発表させる。
- ・鉄道科:日本文化(観光地理・歴史・文化・食事)2年後期に導入。インバウンド対策。2 年前期から後期まで鉄道イベントプロモーションにて各鉄道企業が行っているファン感謝デーのようなイベントをイメージして一般のお客様に対するおもてなしを学ばせる。

津金氏

- ・観光プランニングは海外・国内どちらを想定しているか。  
国内で団体のプランとなると収益はどのくらいになるのか。具体的にどこのバス会社、どこの旅館を使用するのかによって仮定で構わないので収益想定を出来る面白いのではないかと。

酒井氏

- ・プレゼン技法導入は評価出来る。観光プランニングの授業ではどのくらいの収益があるのかを想定させるかは非常に大事。過去の表彰されたツアーでは旅行代金設定では収益が無い。だからこそ収益まで意識して作り上げるのが本来の姿ではないかと。

只隈氏

- ・両科共に今までの改善をしているので、どのくらいの成果が出るのかを確認して欲しい。

## 2. 今後の科目設定について

山口氏

- ・救命に関する授業はあるか。

立石

- ・任意で講習受講を勧めている。

山口氏

- ・災害時対応やAED設置が街中で増えているため、使用方法等を学生に伝えてはどうか。

矢口

- ・エアライン科は導入している。

山口氏

- ・若い方が環境変化の影響なのか体調不良者が増えている。

矢口

- ・各駅にAEDは設置されているか。

山口氏

- ・モノレールは車内に設置している。救急車が来るまで時間がかかるため役立っている

## 3. 今後の展開

津金氏

- ・各社によって対応は異なってくる。民間企業や学校団体では動きがない為、今後は公費の動きを把握して、対応が求められるのではないかと。例えばオリンピックによって動きがある所に営業をかけていく。

立石

- ・専門的な学問や業界に特化した勉強以外にも必要になるか。

津金氏

- ・予算の仕組みを理解することも大切。予算がどう使われていくのか議会が何月に行われているかなどの研修も学んでいく必要があるのではないかと。

矢口

- ・ホテルやブライダル業界では、本業ではない人手不足の業務へ人材派遣することも検討されている。

津金氏

- ・JATAとして東北地方で日本旅行と提携して7月までコロナ病室として旅館を200室確保。

只隈氏

- ・作業量がかかなり多く、本業ではない業務が増えた。また新入社員の配属時期がコロナの影響により住居から一番近い支店に一時的に配属している。研修以外に本業ではない業務をお願いしている。

津金氏

- ・勿論旅行会社を通さず、直接ホテルとやり取りしている場合もある。

立石

- ・鉄道企業の観光に対する見通しはどうか。

山口氏

- ・独自イベントは全て中止。7月末から貸切列車の受注は再開予定。テレワークが今後一層加速しそうなため、従来のような通勤客は減っていく。通勤定期客対策を検討しないといけない。JRのワンマン化運転や駅の無人化等の人手不足が課題。千葉市と協力してよりよい街づくりのために様々な施策を検討している。今後、事業多面化の状況と向き合っていく必要がある。

立石

- ・観光分野外の都市計画の教育や経験が必要でしょうか。

山口氏

- ・多面的な仕事を任された際には必要。鉄道だけでない要素も求められる。

矢口

- ・公立高校が、地域や企業と一緒に環境問題や地域課題に取り組むことを想定した新しい学科を設ける案も出てきているが、専門学校がどのようにつながっていくか。

只隈氏

- ・2022年度より公立高校、私立高校共に、新しい指導要領に変わる。

山口氏

- ・環境問題等考え方として興味を持って志望動機等に盛り込んでいくことが求められる。

#### 4. 就職について→就職担当富澤より報告

富澤

- ・6月末での前年比で求人件数及び内定率が低下している。コロナによって採用活動延期や中止企業が出ているため厳しい状況である。またWEB試験やWEB面接等に対応していくため、学生にPCやWEBカメラなどの学校設備を開放している。

矢口

- ・在校生はオリンピックや世界的イベント等により観光業界は明るいといった状況で進学してきた学生であり、非常に意識だけでなく学業成績や能力の高い学生が多い。求人数は確実に減っており内定へのハードルが上がっている。まずは内定を出して頂き、入社を4月から9月等に遅らせるといった対応は可能かどうか。

津金氏

- ・各企業で確認が必要。

#### 5. 現在の授業・学校生活に関する報告

立石

- ・6/1から対面授業再開し、夏のお盆の時期以外は授業を行い、9/11まで前期授業を行う。時間を45分に短縮し、消毒・換気に努めるよう指導している。

#### 6. 研修旅行について

立石

- ・鉄道科は九州を予定しているが、豪雨の影響次第で目的変更するか検討。観光科は海外から国内に変更するのが良いかどうか検討中。

津金氏

- ・国の指針の帰国後14日間待機規制次第ではないか。

酒井氏

- ・保護者の方の意向も踏まえて自粛ばかりではなく、安心・安全対策を行って実施して欲しい。

進行:立石が分科会を閉会した

**【分科会】エアライン科、デュアル科**

進行:湊が分科会を開会した。

1. 就職状況

昼間エアライン科:29名中13名内定 内定率45%(7/18現在) 前年比74%  
(カーゴ(事務)1名、キャビンアテンダント2名、グランドスタッフ8名、その他2名)  
夜間エアラインコース:6名中内定者無し(異業種への就職希望者もいる状況)

2. 2020年度入学生

エアライン科	キャビンアテンダントコース	4名	
	エアポートサービスコース	26名	
	エアポートカーゴコース	10名	合計 40名

3. 2020年度カリキュラムの現状報告

湊

- ・Airport Study について、本来であれば各企業に依頼し、企業講話並びに航空関係各所で研修を行っているが、コロナ禍により前期は実施することが出来ず、後期に関しても実施出来るか現状不明であるため、学校にしながら空港業務を体験できるような授業はないか。

山田氏

- ・企業と学校でZoomを繋げ、遠隔による体験授業を実施してみてもどうか。

湊

- ・学生、教員共に遠隔に不慣れであり、即時の対応は困難な状況。  
しかし、今後も遠隔になる可能性があるため、遠隔ツールを使用した授業を行い、頂いた提案を検討していく。

栗原

- ・エアポートサービスコース2年生に対してカーゴの授業を実施。  
航空貨物だけでなく、航空業界内の条約や規定を織り交ぜながら授業を実施。

4. 各企業の採用状況

鈴木氏

- ・来年に延期となったオリンピック・パラリンピックについて、一部競技の会場運営を行う予定である為、開催の有無により採用状況は大きく変わる予想。

岸本氏

- ・国際線の見通しが立つまでは厳しい状況。
- ・オリンピック開催に伴い新規事業が開始される予定であった為、新規事業従事者を15名採用したが、現在休業中であり、この15名を教育していく事が先決。
- ・来年度の新規採用は難しい状況。

竹ノ谷より提案

- ・リーマンショック時と似た就職状況。
- ・企業、就職希望者との間で入社日の変更が可能であれば、特例的な採用が可能であるか。  
(内定後、4月入社ではなく、例えば8月9月に入社日を変更)

山田氏

- ・現在は、コロナウィルスの蔓延がいつ終息するかわからず、従業員の出社人数を調整して日々の業務を行っているが、通常に戻った際に採用の日程が変更可能な新入社員がいれば、企業としても非常に助かるため、企業として前向きに検討することは可能。

石井氏

- ・就職する本人・ご家族に納得を頂けるようであれば、特例の就職も検討の余地あり。

## 5. 2021 年度の計画

湊

- ・今年度中の動向がまだ見えない状況であり、場合によっては大幅なカリキュラム変更をせざるおえない状況が続いている為、次回分科会にて再度現状報告と来年度の計画をお知らせします。

進行:湊が分科会を閉会した。

### 【分科会】テーマパーク科

#### 1. 2019 年度 第 2 回目 教育課程編成委員会振り返り

##### (1) 2020 年カリキュラムに関して説明

石神

- ・新規導入科目
- ・電話対応ベーシック及びカラーコーディネートの説明  
一部変更  
イベントプロモーション:当校教職員から、ボイストレーニング等を担当する非常勤講師へ変更。  
舞台や音楽・表現ができる職員に一任する。
- ・キッズハッピープロジェクト及び成果発表の内容を報告する。

##### (2) 現在のテーマパーク業界に関して

伊藤氏

- ・コロナウイルス感染拡大に伴い「マスク着用」対応となる。
- ・他の室内テーマパークではサーモグラフィーカメラを導入したパークもあるとのこと。
- ・お子様より異性の服を着用したいとの要望を承諾するようになる。LGBT 対応の一環

#### 2. 現在の学校状況について

##### (1)授業に関して

石神

- ・5 月中旬に再開に向けた Zoom 授業等開始し、3 密対策や登校時の体温チェックなどを行い、6 月より対面授業を開始した。
- ・授業内容に関して  
例年実施している授業内『パークオペレーション』の内容の一部に感染症対策の内容や『ウイルス』や『抗ウイルス薬』や『ワクチン』の内容など一部の一般知識内容を加えた。
- ・テーマパーク分野だけではなく、旅行業やホテル業界に進路を変更する学生もいる事から、テーマパークカリキュラムにチリの内容等を導入している。

津金氏

- ・当社のグループ会社に東武ワールドスクエアという世界の観光をテーマにした観光施設もある。環境のことなど幅広い視野を持ち、観光やテーマパークを含む様々な知識を習得してほしい。

##### (2)現行のパークに関して

伊藤氏

- ・コロナの影響で集客人員が減っている。
- ・緊急事態宣言解除後も 3 密を回避するために対応に追われるが、元の集客数を確保するには及んでいない。
- ・しばらくはこのような状況が続くが、今後もパークとしてコロナ対策が必要である。

2020 年度第 1 回教育課程編成委員会議事録(ホテル科・ブライダル科・夜間部デュアル科)

日 時	2020 年 7 月 13 日(月)	場 所	8 号館 3F ホテル実習室	進 行	澤田	記 録	塚本
出 席 者	企業側(4 名)敬称略・順不同						
	企業名・団体名		名前		学科		
	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会		飛田 和子		ホテル・ブライダル・デュアル		
	株式会社オータパブリケーションズ		山下 裕乃		ホテル・ブライダル・デュアル		
	シティパークアンドサービス株式会社		加藤 哲也		ホテル・ブライダル・デュアル		
	ホテルニューオータニ幕張		風間 昭彦		ホテル・ブライダル・デュアル		
議 事 録	学校側(6 名) 矢口、竹ノ谷、澤田、小園、栗原、塚本						
	澤田より分科会を開会。						
	校長挨拶(矢口) 本校では、5 月中頃よりオンライン授業を実施。 6 月から対面授業スタートとなり、学校にも活気がでてきた。 消毒・換気等密を防ぐ対策をしながらの運営であり、今後も状況に応じて変わっていく必要性がある。						
	<b>1. 業界・企業の最新情報について(コロナウイルス対策など)</b>						
	飛田氏:ホテルや会場によって、対応策は様々である。 挙式での聖歌隊については、アクリル板を立てる、牧師先生の周りに囲いを立てて、マスクなしで行う場合や、アクリル板なしでマスク着用など、会場に合わせて対応している。 検温や消毒は必須。婚礼は、9 割近くが延期、1 割弱が実施の状況。						
	風間氏:ホテル全体で、前年比 4 月 5 月と 80~90%近く売上減。 緊急事態宣言解除後も、幕張メッセや TDR の影響が大きく、厳しい状況である。 ブライダルについては、9 割が延期・中止(ほぼ延期)。 元々大人数で予定していた婚礼が、親族のみで今夏実施の予定あり。 従業員は、検温・消毒徹底。 お客様のご意向によって、アクリル板・フェイスシールド・マスク着用など臨機応変に対応している。 お客様自身が、スタッフ着用のフェイスシールドなどご持参されるケースもある。 レストランでの対応についても、席数は半分弱になっても、人手はかかるため、以前よりコストがかかっている状況。						
	加藤氏:7/7 以降取引ホテル再開稼働。 ホテルそれぞれの方式を取り入れて対応している。 フェイスシールドの義務付けをしているのは 1 社程度。マスク着用は必須対応。 オペレーション自体は変わっていないのが現状。 ホテルによって対応が違い、消毒対応などにも手間暇かかることが多い。 あらゆる業界の中で新様式ビジネスが必要で、他業種とコラボレーションすることで、新しい兆しが見えるのではないかと。						
	山下氏:沖縄の大手配膳会では、市町村で助成金などの手続き業務に人材派遣をスタートした。 コロナウイルスの影響により、都内ホテルでの一般宴会・ブライダルは 9 月半ば以降に日延べ。 今後感染者数が増えることによって、さらに来年に日延べとなり、トーンダウンすることは否めない。 SNS により情報が拡散されてしまうため、キャンセル料他料金設定が難しい。 パッケージプランではなく、ひとつひとつのアイテムと契約する方法に変更し、明確化していく必要がある。 テレワークする中での問題・不安要素として、営業部と広報の働き方、必要性が問われてきている。 ブライダルにおいては、オンラインでの新規接客が、新郎新婦にとって押し付けられる不安もなく自宅で気軽に聞けるので、プランナーはテレワークが増えている。						

お客様にとっては、プランナーより安心・安全であることが第一である。  
バックヤードを輝かせること、その見せ方によって、ブランド力が上がっていき、良い人材も入ってくる可能性がある。  
「with コロナ」として、非接触が必要であり、スマートチェックインやホテル入口での靴を脱ぐなどの対応、通路を一方通行にするなど、明確な対策も必要になってくる。

澤田 : 学校では、遠隔授業として課題・オンデマンド・双方向と様々な形で実施した。  
密集を避ける対策として、座席表の指定、入館時入口の制限、職員が立って消毒の徹底、サーモグラフィの設置など行った。  
留学生については、先週まで隔週での登校だったが、今週よりマスク・フェイスシールドを配布して全員登校となっている。

## 2. 2019 年度 教育課程の振り返り

澤田 : 共通科目

■キャリアデザインⅣ 2年生後期に社会人マナー・プレゼンテーション技法を行っていたが、2019年度以降Ⅰ～Ⅲ(1年生～2年生前期)で集中して行っている。

ホテル科

■英語の授業 クラス内での能力差があるため、レベル分けを考えていきたい。

■身だしなみ講座 特別講座から新授業として導入。

年間ブライダル科 60コマに対して 15コマのため、女子学生に関しては、もう少し時間数が必要と感じている。

塚本 : ブライダル科

■BC 技能検定対策 国家検定になったことにより、2019年より対策授業を導入。  
合格率の向上を目指していく。

■ブライダルフォト・ムービーの授業を拡大化。これからの授業運営となる。

栞原 : 夜間部

■キャリアデザイン 1年生前期から導入したことにより、学生たちの就職やコロナの状況に対する不安解消につながった。

■身だしなみについて 業界で働ける学生が少ないため、身だしなみ(ヘア・服装)の授業が必要かどうかご意見を伺いたい。

## 3. 企業実習・採用活動状況について

澤田 : ホテル科

夏期企業実習については、冬期 12月～約1ヶ月にスライド。

冬期企業実習については次年度 1・2年生合同を予定。

ブライダル科・テーマパーク科については、現状難しく、違う形での単位認定となる。

小園 : 7/13 現在で、内定 83名/全体人数 253名 1/3の内定率となっている。

※前年比(前年7月末)内定 137名/全体人数 235名

コロナウイルスによる採用中止・停止がかなり影響している。

業界変更する学生も出てきている。(エアライン→ホテル、ホテル・ブライダル→旅館など)

目標を失って、モチベーション低下している学生も多く、心のケアも必要となっている。

保護者から採用に関する問い合わせもあり、就職率 100%達成のため引き続き学生対応していく。

2022年度採用のインターンシップが始まりつつある。

## 4. 2021 年度以降について

澤田 : ホテル科

「ホテル接客英語」3クラス分けで行っている。

レベル分けしてほしいという声も上がっているが、レベル分けをすると、男子学生が集まってしまうことに懸念がある。

「身だしなみ講座」現在 15コマでの授業運営を行っているが、女子学生については、ブライダル科と比較して考えるともう少し時間が必要ではないかと感じている。併せて、ホテル科では男子学生も半数近くおり、男子学生が学んでおくと良い内容などがあればご教授いただきたい。

風間氏: 男子学生については、歩き方講座など行ってみたいかどうか。

加藤氏: 専門学生より、大学生の方が手がかかるように思う。企業に入ってからしっかり身につけていく形でも良いのではないかと。



飛田氏:近年華やかなデザインのネイルアートが人気で、仕事上では目立たない色にするよう指導している。

山下氏:マスク着用が定着化しつつある中で、マスク着用での見え方、表現の仕方が重要である。

表情が見えてこない企業もあるが、今後は「マスク顔」の研究・指導も取り入れたら良いと思う。

小園:地毛が明るい学生について、どのように感じていらっしゃるかお聞きしたい。

加藤氏、風間氏:余計なことをせず、自然のまま、個性として取り入れられれば良いと思う。

企業によっては、気にしているところもある。

塚本:ブライダル科

現在、他学科ではサービス介助士の資格を必修としており、ブライダル科でも導入を考えている。

飛田氏、風間氏:資格取得まで必要かどうかは別として、車イスのお客様対応の知識は持っているが良いと思う。

加藤氏:同様である。資格取得については、学生にとって自信につながるのであれば目標に掲げることもひとつ  
だと思う。

塚本:ブライダル科では、学校生活の中で人間関係(友人関係)に悩んでいる学生も多く、また、卒業研究の

授業では、LGBTを題材に挙げる学生もいた。そういった道徳・心理に伴う授業を取り入れるのはどうか。

山下氏:学生からのヒアリングをもって、スポット的に講義をしてもらうのが良いのではないか。

葉原:夜間部

ホテル科/ブライダル科では、英語の他に中国語なども選択科目として取り入れているが、業界で学んで  
おいたほうが良い語学などあればご意見をいただきたい。

飛田氏:英語は必須と感じている。

風間氏:英語と併せて、中国語もこれから必要性があると感じている。

加藤氏:英語がメインである。身近なところから、遊び心を持って学べるような工夫があるとより良いのでは。

矢口:コロナウイルス対策をどうしていくか。規定化されていくのではないかと予想されるが、

「with コロナ」対策を今後も行っていかなければならない。

大学などではタブレットを支給してオンライン授業を行っているが、本校では実技を伴う授業も多く、  
対面授業を重視して、授業運営を行っている。

今後、企業説明会や施設案内などオンラインで行われるようであれば、配布なども検討して企業との  
連携を計っていきたい。

進行澤田により閉会。

2020年度第2回教育課程編成委員会議事録  
(観光科・鉄道科・エアライン科・テーマパーク科・デュアル科)

日時	2021年3月8日(月)	場所	8号館 4F ホスピタリティホール	進行	湊	記録	北原
出席者	企業側 (12名) 敬称略・順不同						
	学科	企業名・団体名			お名前		
	観光・鉄道	一般社団法人日本旅行業協会 関東支部千葉県地区委員会			津金 貴浩		
	観光・鉄道	千葉都市モノレール株式会社			山口 晋司		
	観光・鉄道	東日観光株式会社船橋支店			酒井 大之		
	観光・鉄道	株式会社日本旅行千葉支店			只隈 修一		
	テーマパーク	イオンモール キッズドリーム合同会社			伊藤 弘美		
	ブライダル・デュアル	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会			飛田 和子		
	ホテル・デュアル	ホテルニューオータニ幕張			風間 昭彦		
	ホテル・デュアル	シティパークアンドサービス株式会社			加藤 哲也		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社旅行綜研			石井 光彦		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社ジャッツ 成田空港事務所			鈴木 繁		
	エアライン・語学集中 ・デュアル	一般財団法人成田国際空港振興協会			岸本 達也		
エアライン・語学集中 ・デュアル	株式会社エコーパートナーズ			山田 将人			
学校側 (10名) 竹ノ谷、立石、中山、石神、茂野、塚本、小園、湊、北原、栗原							
議事録	<b>【全体会】</b>						
	<p>司会進行：湊</p> <p>今回の教育課程編成委員会は、観光科・鉄道科・テーマパーク科・エアライン科・語学集中科・ホテル科・ブライダル科・デュアル科で開催。</p> <p>1. 事業副本部長挨拶：竹ノ谷 前回の教育課程編成委員会はコロナ禍で観光業界が大変な状況だったが、現状も変わらず大変な状況である。学校はほぼ全ての行事が中止となり、就職未決定の学生は過去類を見ない状況。学生には非常にかわいそうな状況である。何か就職のチャンスがあればぜひ連絡を頂戴したい。次年度も観光業界への目的意識が強い学生が入学してくる。ここ数年学生が増え続けていたが、コロナ禍で厳しく不安な状況。仕方ないといしか言いようのない状況だが、この大変な時期に職員間でのチームワークが見られたと思う。次年度、4月から小中高のICT教育が本格化される。千葉はまだ遅れているが、行政がタブレット等貸与し、Wi-Fi環境を整える。当校もWi-Fi設備等IT環境を整えていく。観光業界が苦しい中でも前を向いてポジティブに頑張っていきたい。</p> <p>2. 業界・企業の最新情報 ・コロナとの共存を見据えた、各業界の新たな取り組み</p> <p>湊 コロナと共存するために各企業様が新たに取り組んでいることはあるか？</p>						

加藤氏（ホテル・デュアル）

- ・ホテルマンの人材ビジネスとして、固定費率がとても低く、早い時期にリゾート請負（GOTO 時期）、コンサル、研修にも進出し、挑戦しやすい環境がある。
- ・ホテル単体では無く大手ディベロッパーと組む等幾つかの複合施設大規模事業に参入している、また既存のビジネスに加え新しいビジネス展開を行っているところ
- ・今年度の赤字幅は思ったより少なくなりそうである（結果として黒字の決算であった）、離職者も少なく新規でサービスアパートメントの契約も獲り、次年度も希望に満ち溢れている。

風間氏（ホテル・デュアル）

- ・今までは外国人客 6、7 割と日本人客向けの営業形態だったがコロナと対面し、外国人客はこの 1 年で 0 になった。一般の宴会もほぼ 0、ブライダルもほぼキャンセルとなり厳しい 1 年となった。
- ・次年度に向けての取り組みを模索中。スタッフ休業制度を取り、耐えている状況。
- ・通常のビジネスに戻せるよう頑張っているところ。今まで取り入れていなかった若年層の取り込みに取り組んでいる。
- ・基本に立ち帰り、新たなお客様の取り込みに向けてチャレンジ中だがまだうまくはいっていない。

飛田氏（ブライダル・デュアル）

- ・コロナで、ブライダル音響の仕事を止める企業が増えた。
- ・コロナキットを使い、結婚式のキャンセルを防ぐ取り組みを始めたところ。現在ご家族のみでの挙式が多いが、コロナキットを使い今まで通りの結婚式（友人や同僚をゲストで招待するスタイル）実現を目指しシステムを構築し始めた。反応は良い。当社として商売にはならないが、元通りのブライダル実現のため頑張っている。

津金氏（観光・鉄道）

- ・GoTo で旅の力が示された。世の中の景気回復が観光業界となっている今、これをどう活かしていくべきか。
- ・GoTo で修学旅行等団体旅行には動きがあった。個人旅行はまだまだだった。感染症対策をうたい、小型の旅行から始めていくというところである。
- ・会社としては、ワクチン接種需要の事務局を狙っている。地域を活性化させるために、観光のお金の使い方を地域に変えてもらう。旅行業界はデータ収集や調査事業にたけている業界なので、ワクチン接種需要事務局の業務は必要とされるはず。
- ・観光業界が地域のアドバイザー的存在になれるよう努める。

山口氏（観光・鉄道）

- ・鉄道はお客様を運ぶのが主体なので、突破口はまだ見えていない。
- ・在宅勤務で出勤が減っている中、定期券収入は 2 割 3 割減。
- ・今年度は赤字。次年度も厳しい状況が続くであろう。不景気に強い鉄道業界だが、在宅勤務が増え利用客が減っている為、頭を悩ましている。
- ・モノレールを地域で活用できないかについて千葉市と検討中。例えば駅舎をリモートワーク用で使うなど、地域のために別の活用方法を模索して行く。

酒井氏（観光・鉄道）

- ・インバウンド部隊は月に 4 日までの出勤制限、教育旅行部隊については月 10 日ほどの出勤。
- ・インバウンドは全く仕事がないが教育旅行は日帰り旅行に動きがあった。日帰り遠足などは通常の倍のバス予約もらった。
- ・インバウンドについてはしばらく厳しいので、地方の名物を物販販売するなどのチームを作り活動している部署もある。
- ・秋は GoTo で売上げが上がった支店もある。県内ありきの個人旅行から盛り上げて行けたらと思う。

只隅氏（観光・鉄道）

- ・支店は退職と異動で縮小している。2022、23年の教育旅行が動いているのでそれに向けて始動

伊藤氏（テーマパーク）

- ・1年前ごろからお客様のキャンセルが相次いだ時期で、それから1年経った今も団体客にも影響が出ている。
- ・行事のキャンセルでお越し頂けなかったお客様に、お仕事ドリルの無償配布。各業界についてクイズ形式で記載した内容。
- ・3月は卒業旅行の時期だが行けない状況なので、1日限定で16歳以上のお客様用プランを実施予定。
- ・悔しい思いをしている子供達だが、今後の生きる糧になると思うので大人も頑張っていきたい。

鈴木氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・空港事務所としては休業補償で雇用を切らず業務を行っている状況。
- ・グループ全体として、空港のように仕事が0のところもあればコールセンターのような場所は仕事がある。そのような場所に社員を振り分けている。
- ・今までの経験やスキルではなく、一から新入社員になったつもりで新しい業務を行ってもらっている。
- ・リモート化が進んでいるが、必ず人が必要などころはある。対面に対応出来るよう人材の確保を模索

岸本氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・昨今の頃は、オリンピックのため新しい体制を準備していたがコロナでダメージを受けた。
- ・成田空港と共に歩んできたが、空港に依存しすぎていたためにダメージが大きかったと感じた。騒音調査を他空港で行うなど、成田空港以外の仕事も積極的に取っていく。
- ・厳しい状況がしばらく続くが、回復した時に対応できるよう既存の業務と新しい業務のバランスをきちんととっていききたい。

石井氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・海外添乗は0だったが、GoTo効果で国内添乗の数字は会社始まって以来上げることが出来た。
- ・運営スタッフ250名のうち退職は3名、派遣スタッフは40パーセントが去り。残った派遣スタッフを公の仕事に派遣している。
- ・休業補償で何とか業務を続けているが、約200名の派遣スタッフが他業種に移っていった。
- ・リアルとオンラインをどう区分していくか。添乗はリアルだが、オンラインでの添乗員養成を始めた。最終的には、添乗は人とかかわるリアルな仕事なので指導する必要がある。
- ・人の集め方を工夫していかなければならず、他業種への人材派遣など方針を検討中。
- ・2020オリパラ実施により、良い方向に進めばと思う。

山田氏（エアライン・語学集中・デュアル）

- ・雇用調整助成金を活用して会社を維持している状況。
- ・取引先であるANAグループ会社が、委託先企業の業務内容再編を実施した中で、弊社は既存の業務に加え新規業務も受託した。今後復便したら今以上に業務が増える予定。
- ・ピーチ・アビエーションに関して、2020年10月に3タミから1タミに移ったことで利便性がよくなった。今後便数が増えることが見込まれているので、対応できるよう準備を整えていく。
- ・メディアにて発表されていた内容であるが、ANAが新規のLCCの立ち上げ構想を発表していた。ビジネス展望としてそれらの業務に携わっていただけることも想定して準備をすすめていく。
- ・今日は緊急事態宣言解除日だったためかPeachについては多くの搭乗をいただいた。卒業旅行などの若年層が多いように見えた。

**【分科会】観光科、鉄道科**

進行：立石が分科会を開会。

《2020年度 振り返り》

立石

- ・ カリキュラム内に入っていた一部行事を除き、予定していた多くの行事及び学校イベントが中止となった。次年度においてはコロナ対策をしつつ出来る範囲で実施していく予定。
- ・ 授業について時間割の変更等はなく、オンライン授業は実施せず、対面形式で対策しつつ行う。本年度も従来通りの時間数を確保し、可能な限り対面での授業を実施した。
- ・ 国家試験について、国内管理者受験者数 35名 合格者 10名  
総合管理者受験者数 3名 合格者 1名。

学校側としては元々40～50%の合格率を目指したが、授業が後ずれになり、例年は8月に実施する集中補講ができなかったことが合格率低下の大きな原因と推測する。ただし、今年度初めてWEB（受験用アプリ）を導入し、通学時間や空き時間に実施できるようなサブツールを導入。合格者の多くはこのアプリを多く実践、このアプリに救われたという学生の声もあり、来年度も継続して導入予定。

《カリキュラムについて》

立石

**【観光科】2年生「観光総合実務Ⅰ/Ⅱ」を導入**

→団体ツアーによって出る収益や値段設定を仮で作成し、旅行代金の仕組みや収益想定を授業内で実施する予定。

- ・ 1年後期「web筆記対策」を導入

→就職試験におけるweb筆記対策と当校で問題としている「基礎学力」の補講として、すららネットを活用し授業を行う。

**【鉄道科】・2年生「鉄道業界研究、鉄道接客演習」を導入**

→実習室を利用し、駅での接客対応や窓口案内等を学ぶ。鉄道の知識ではなく業務に必要なコミュニケーション能力を習得する。

- ・ 1年後期「web筆記対策」を導入

→今までも就職対策の授業は導入していたが、個別の能力が違い、理解度も様々であった。今回すららの導入で個々のレベルに合わせた対策ができる。

酒井氏

今後のカリキュラム編成は時代にあわせて変更が必要になっていく。そういうタイミングこそこの委員会というのが大切になっていくと思う。

《学生状況について》

立石

1年生 観光 15名（男子：11名/女子：4名）、鉄道 23名（男子：21名/女子2名）

2年生 観光 15名（男子：5名/女子：10名）、鉄道 19名（男子：18名/女子1名）

→ここ数年、観光科に入学する女性の学生が減少している。旅行会社の就職状況などを見ても各社とも女性の比率は減っているか。

津金氏

女性のほうが多い。且つ優秀である。ここ数年同じである。

竹ノ谷

広報的な部分を見ても、カウンター業務への高校の先生の反応が悪い。プランナー・添乗員のイメージを強く持たれている。もしかしたらその辺も影響しているかもしれない。

《就職状況》

富澤

内定状況

観光科 2020年度 卒業生 12名 10名内定(83.3%) 昨年：卒業生 10名中 10名内定

鉄道科 2020年度 卒業生 25名 24名内定(96.0%) 昨年：卒業生 16名中 16名内定

2021 年度 現状報告

観光科 採用活動企業減(大手) 鉄道系企業や添乗派遣企業は求人あり

鉄道科 採用活動企業減(大手) 採用求人数減も目立っているが求人はある

各企業オンラインでの面接が増えている。昨年度は企業側も手探りだったが、今では多くの企業が導入している。

《最新の業界情報》

津金氏

お金の出どころを民間→公費に変えざるをえない。10人に1人が観光業に何かしら携わるという試算もあり、旅には力があるということが強く言われている。GOTO 事業に表れるように、国は観光業界への力入れを進めている。「旅には力がある」

即戦力と言う意味では、カリキュラムにいれたら面白い。企業側としては、発想の転換や若い人の意見が必要である。

只隈氏

旅行業界の仕事だけでは厳しい現状の中、ワクチン接種のコールセンターなどの行政の仕事にも手を伸ばしている。

竹ノ谷

ワクチン事業などに介入する為には何か資格等は必要あるのか。

津金氏

GOTO でガソリンスタンドや飲食業が登録すれば共通クーポンが使えるように、要は事業として登録されていけば問題ないように思う。

山口氏

鉄道はお客様を運ぶという仕事が基本な以上、ノウハウをしらない他分野への投資は難しい。

場所貸し位しかできない。

鉄道事業とは街づくりの要素が大きい。街づくりのモデルとしてモノレールは使いやすく、実際に国との話もしている。例えば 5G の回線をモノレールの線路に沿ってつける等。

但し、我々の事業は収益を目先に考えるのではなく、街を豊かにすることで、利用者を増加させる。

結果的に収益があがるということを考える。結果的にインフラの役割としての事柄を優先している。

沿線開発の為に鉄道を持っていると考える等、フレキシブルな考えは必要である。

竹ノ谷

現状、特に旅行業界への就職が厳しくなっている。いずれ観光業も復活していくとは思いますが、企業の方から見て、この業界から旅行業界に転職してくるのが良いみたいなのはあるか。

酒井氏

どこの企業に属するというよりも、人間力という部分が必須。強いて言うならば人と接する仕事をしている方が良いかもしれない。

津金氏

キャリアデザイン・パソコンは何をしている。

竹ノ谷

パソコンは基礎的な入力や PP の使い方。キャリアデザインは就職について。そもそも働くとはという部分から指導している。

津金氏

企画は PP が基本。ここのスピード感というのは求められる。企画書の作成、見積もり関連とかを考えると商業系の学生は強い。

立石

今年、授業内で国際交流という授業があったが、基本的に職員は口出ししなくても自分たちの発送やアイデアで面白い動画を沢山作成していた。昔に比べると、動画作成等への抵抗もなくなっている。

津金氏

学生自身で何かを作った経験は大きい。

竹ノ谷

現在実施している卒業研究もブラッシュアップをし、より意味のあるものにしていきたい。

進行：立石が分科会を閉会した。

## 【分科会】エアライン科、デュアル科

進行：湊が分科会を開会。

### 《就職状況》

北原

- ・2020年度 エアライン内定状況 昼間部：33名内定／学生36名（91.7%）  
夜間部：6名内定／学生6名（100%）

航空業界から他の業種（業界）へ就職をする学生が多数。

- ・2021年度 就職活動実施中  
今年度も航空業界への就職は非常に厳しいため、コースを超えて就職活動を実施している。

### 《2021年度入学生》

- |                        |               |     |        |
|------------------------|---------------|-----|--------|
| ・エアライン科                | キャビンアテンダントコース | 5名  |        |
|                        | エアポートサービスコース  | 13名 |        |
|                        | エアポートカーゴコース   | 10名 | 合計 23名 |
| ・夜間エアラインコース・デュアル科エアライン |               | 2名  | 合計 2名  |

### 《2020年度 現状報告》

湊

- ・2020年度入学生について、コロナウィルス影響前に航空業界への就職を希望して入学を決めているため、就職先を他業種に切り替えることが困難であり、退学者が増加している。
- ・行事が軒並み延期、中止となっており、2020年度生については、1年次のカナダ留学が実施出来ておらず、2021年12月に実施を延期（予定）。  
2021年度生については入学後のオリエンテーション合宿が宿泊不可となったため、現在内容検討中。  
カナダ留学については例年通り9月に実施予定で動いている。
- ・2022年度より夜間エアラインコースが募集中止となる。

### 《2021年度 カリキュラムについて》

湊

- ・2021年度カリキュラム変更は2020年度を踏襲。  
航空業界を目指すためのカリキュラムであるが、業界知識や技術だけでなく他の業界にも共通する内容（立振る舞い・言葉遣い等）を取り入れる。

栞原

- ・夜間部カリキュラムについても、2020年度を踏襲。  
実習（アルバイト）を空港で行うこともできず、航空業界への就職も非常に難しいことから、業界を変更して就職活動を行っており、2021年度2年生の授業が非常に苦しい状況となる予想。

### 《企業様より各種報告》

山田氏

- ・新規業務 ⇒ コックピットクルーの送迎、Peach（LCC）の機内清掃。
- ・多様性が求められる時代となっており、目標を持って入社してきた若い世代が希望していた業務が行えず退職意向を表明する傾向。

岸本氏

- ・異分野の会社と業務マッチングを実施。  
アナウンス等のスキルを活かし、空港マッチングにてガイドや新規接客業を取り入れている。

石井氏

- ・旅行業務で培った人の誘導や振り分けのノウハウを、ワクチン接種業務に置き換えて実施予定。
- ・オリンピック・パラリンピック⇒インバウンド業務での収入は見込めず、引き続き厳しい状況。

鈴木氏

・ワクチン接種関連業務

接客スキルが求められる業務であり、旅行業界が不振で有ることからスキルを持つ旅行会社に焦点が当てられ、市町村からの依頼が入っている。

共通

- ・例年以上に多様性が求められ、通常の業務だけでなく、場合によっては業界を超えて全く異なる業務を実施することもあるため、学生に対しても多様性を身に付けられる授業を実施していく必要があると感じている。

《2021年度の計画》

湊

- ・来年度も非常に厳しい状態が続くため、航空業界や学生に対する明るい情報があれば共有頂き、今後の学生指導に活用させて頂きたい。

進行：湊が分科会を閉会した。

【分科会】テーマパーク科

進行：石神が分科会を開会した。

《コロナ禍における現状に関して》

伊藤氏

- ・感染防止のためイオンモール出入口及びパーク入口でも検温を実施している。
- ・パーク内でのゲスト対応は通常の半数で対応している。
- ・コロナの影響でのキャンセルになった学校に対してはフォローとして「クイズ形式のお仕事ドリル」送付している。
- ・通常の年齢制限を外して16歳以上限定の「アオハルプラン」を2021年3月19日に1日限定で実する。
- ・例年行っている「カンドゥー研修」については今後の状況により決定するが、今年度同様に行いたいこと。

《2020年2021年カリキュラムに関して説明》

石神

【新規導入科目】

- ・電話対応ベーシック及びカラーコーディネートの説明。
  - ・身だしなみ講座：ホスピタリティ産業へ向けた服装身だしなみと再度強化。
  - ・PC入門：ZOOMなどの遠隔システムや新たな就職活動や新たな生活様式に向けた内容。
- \*成果発表に関して：常勤職員からボイストレーニング等を担当する講師の職員が担当。  
舞台や音楽・表現ができる職員に一任した。

《学校状況について》

石神

- ・5月中旬に再開に向けたZOOM授業等開始し、3密対策や登校時の体温チェックなどを行い、6月より対面授業を開始した。行事に関してはコロナ対策をして一部実施したがほぼ中止。
- ・授業内容に関して行事实施分の授業単位を座学にて実施。例年実施している授業内『パークオペレーション』の内容の一部に感染症対策の内容や『ウィルス』や『抗ウィルス薬』や『ワクチン』の内容など一部の一般知識内容を加えた。
- ・新卒募集の件、例年募集をしていた観光業界求人及びテーマパーク業界のアルバイト求人の見合わせ多発し、学生の個別相談が多くなった。

進行：石神が分科会を閉会した。

以上



2020 年度第 2 回教育課程編成委員会議事録（ホテル科・ブライダル科・夜間部デュアル科）

日 時	2021 年 3 月 8 日(月)	場 所	8 号館 3F ホテル実習室	進 行	澤田	記 録	塚本												
出席者	<p>企業側（3 名）敬称略・順不同</p> <table border="1" data-bbox="261 295 1430 483"> <thead> <tr> <th>企業名・団体名</th> <th>名前</th> <th>学科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公益社団法人日本ブライダル文化振興協会</td> <td>飛田 和子</td> <td>ホテル・ブライダル・デュアル</td> </tr> <tr> <td>シティパークアンドサービス株式会社</td> <td>加藤 哲也</td> <td>ホテル・ブライダル・デュアル</td> </tr> <tr> <td>ホテルニューオータニ幕張</td> <td>風間 昭彦</td> <td>ホテル・ブライダル・デュアル</td> </tr> </tbody> </table> <p>学校側（4 名） 澤田、小園、寺園、塚本</p>							企業名・団体名	名前	学科	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	飛田 和子	ホテル・ブライダル・デュアル	シティパークアンドサービス株式会社	加藤 哲也	ホテル・ブライダル・デュアル	ホテルニューオータニ幕張	風間 昭彦	ホテル・ブライダル・デュアル
企業名・団体名	名前	学科																	
公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	飛田 和子	ホテル・ブライダル・デュアル																	
シティパークアンドサービス株式会社	加藤 哲也	ホテル・ブライダル・デュアル																	
ホテルニューオータニ幕張	風間 昭彦	ホテル・ブライダル・デュアル																	
議 事 録	<p>澤田より分科会を開会。</p> <p><b>1. 2021 年度履修科目について</b></p> <p>澤田：ホテル科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■英語クラスのレベル分け 次年度より英語の授業クラスをレベル分けして実施予定。 レベル分けをすると、男子学生が 1 クラスに集まってしまうのではという懸念もあるが、クラス内での能力差を回避するため、3 科目（TOEIC・英検対策/ホテル接客英語/飲料解説）をグレード別に 3 クラス分けして授業運営をする。</li> <li>■ホテル業界研究 以前までは、実習に向けての心得・準備を中心に授業を行っていたが、2020 年度においては夏季企業実習が延期になり、代わってホテル業界への知識を深めるべく、各企業や業界について各グループで調べる、考える、意見を述べる（発表する）というグループワークを取り入れたところ、非常に効果的であった。（次年度は 15 時間拡大）</li> </ul> <p>塚本：ブライダル科</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ブライダルセールス I サービス介助士の導入を検討していたが、結婚式の多様化とともに、人の多様性を知り、高齢者・障がい者・LGBT などより幅広く学ぶことができるよう、授業 15 時間＋「ユニバーサルマナー検定 3・2 級」を導入する。</li> <li>■ジュエリー入門 すでにビューティスタイリストコースでは学んでいる科目であるが、近年ウエディングプランナーコースでも興味を持ち、就職する学生が増えてきているため、ウエディングプランナーコースでも基礎知識が学べるよう導入。</li> </ul> <p>澤田：夜間部については、2022 年度よりホテル科・デュアル科ホテルコースのみの運営になる。ブライダル科も無くなるため、ホテル科でブライダルのことも学べるようなカリキュラム編成を検討。</p> <p>寺園：夜間部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ブライダルコーディネーター技能検定対策 国家検定を目指すための対策授業を導入。</li> <li>■ブライダルセールス II 実技を主とした実践的な授業時間数を 15 時間拡大。 2022 年度からの学科編成を視野に入れて、ブライダルの授業を取り入れ、充実させた。</li> </ul>																		

## 2. 就職活動状況について

小園：この1年、オンラインでの説明会や選考が増えてきた中、その時々に応じて対応してきたことが

ならず

肥やしとなっている。今後もこのような状況は続くと思われるので、取り組みとしては変わ

対応していく。

2020年度卒業生も卒業までわずかではあるが、現在も就職活動中の学生が20名位いる。

例年がない状況ではあるが、最後までサポートしていく。

エアライン・旅行系は求人がない状況もあり、サービス業界・ホテル業界への誘導や進路変更による

指導も引き続き行っていく。

オンライン面接が増えてきて、都内では8割近くオンライン面接が多くなっている。

企業によっては最終までオンラインの企業もあるが、企業様はどのレベルまで求めているのか是非ご意見を伺いたい。

飛田氏：マスクをすることで、見た目も半分になり、表情や愛嬌なども隠れてしまう。

そのため、見える部分のメイクの仕方に気をつけたり、ライトの当て方で顔の見え方が変わるので、

そうしたことを意識することも必要なかと思う。

小園：マスクした時の印象とマスクを外した時の印象の違いやオンラインでの印象と対面での印象の違いが

あり、良くも悪くも実感している。

風間氏：最終決定はしていないが、オンラインだとその人の雰囲気や表情など伝わりづらいので、できる限り

対面での面接を考えている。

加藤氏：対面での面接が主であるが、その時々に応じてオンラインも併用している。

澤田：本校では今までWiFiの環境が整っていないが、オンライン面接に関しては自宅もしくは学校内で不安定

な状況がある中行っていたが、現在は整い改善された。

加藤氏：WiFiの環境は必須であり、環境がない社員には貸し出すなどの対応をしている。

風間氏：ブライダルでは現在オンラインでの打合せも行っており、ご来館いただく時間ロスなども考えると

今後主流になってくるのではないかと。

澤田：ちば愛犬動物フラワー学園やアイ エステティック専門学校では次年度より週1回オンライン授業を

実施予定。本校では、実技を伴う授業が多いため、なかなか即座な対応が難しい。

## 3. 2020年度/2021年度 企業実習・行事について

澤田：2020年度 行事

2020年度、オリエンテーション合宿・研修旅行などほとんどのイベントが延期・中止となった。

実施できた行事は、ホテル科2年生カクテルコンペ（審査員・理事長・校長出席/テイステイングは

無しでの審査）とブライダル科1年生の成果発表（先生方みの参加/飲食無し）とブライダル科2年生の卒業制作（無観客/オンラインでの視聴/飲食無し）だった。

澤田：2020年度 企業実習

夏期企業実習 → ホテル科：冬期12月～約1ヶ月にスライド。

ブライダル科：中止 社会体験に切り替えて実施。

冬期企業実習 → ホテル科：実施

澤田：2021年度 行事・企業実習

4月実施予定のオリエンテーション合宿については、1泊2日宿泊は無し・日帰りバス可各学科にて実施予定。

その他研修旅行・海外研修等実施予定だが、今後の状況に応じて変更あり。

企業実習については、次年度夏季はホテル科1・2年生合同/ブライダル科1年生を予定。  
例年より大人数での実施となる。

多々ある中  
今年度延期になり、次年度にスライドしている行事もあるため、1・2年生合同の行事が  
ではあるが、次年度も引き続き対策を取りながら進めていく。

進行澤田により閉会。